



# Varaždinske barokne večeri

## Varaždin Baroque Evenings

ヴァラジュディン バロック マジックをヨーロッパの懷で  
バロックフェスティバルをクロアチアの歴史が語る王立都市の地で開催

バロック音楽はクロアチアのバロックの発祥の地でもあり、かつて 50 年間首都であったヴァラジュディン市で続いている芸術です。Varaždin Baroque Evenings (VBE) : ヴァラジュディン・バロックの夕べ は、秋の季節を迎えると多くの教会、由緒ある城などで開催されます。1971 年からは、毎年 3 日間続くイベントはヴァラジュディン市の周辺地域に広がりを見せはじめました。現在は 2 週間続くフェスティバルとなり、世界中から集まった 1 万人を超える観衆を前に、多くのミュージシャン達による 30 以上のコンサートが行われています。このイベントはヨーロッパに限らず世界のなかで、歴史ある音楽祭として知られています。さまざまなコンサートは、主にこのクロアチア北西部地域で多く開催され、ヴァラジュディン・バロックの夕べは、ヨーロッパの各国にもゲストとして多く参加しています。

過去にフェスティバルで行われたイベントの中で特筆すべきは、バロック音楽の第一人者 Jordi Savall (ジョルディ・サバル) の公演、ウイーン少年合唱団によるオープニングコンサート (2012 年)、Herce Niquet (エルヴェ・ニケ) による Le Concert Spirituel、さらにスペインのアンサンブル Le Tendre Amour などが挙げられ、バロックの荘厳さ、そして上質な面白さの両面をみることができます。バラジュディン・バロックの夕べでは、過去ロシア、オーストリア、イタリア、ドイツ、ハンガリー、イスラエル (そして今、日本) などが紹介され演奏しています。

今年の音楽祭は、9 月 21 日より 10 月 3 日まで開催され、プログラムのなかには、遠く離れた二つの国、クロアチアと日本のミュージシャンがお互いに寄り添って音楽を奏でると紹介されています。ヴァラジュディン市は、日本のミュージシャン Hidemi Suzuki and Orchestra Libera Classica を招聘しオープニングコンサートを開き、このグループの友人仲間でもある Vocal Ensemble La Fonteverde と Bach Collegium Japan もフェスティバルに参加します。さて、バラジュディン・バロック音楽の夕べは、音楽領域以上のイベントでもありますので、今回は、”バラジュディン・バロックの夕べ - 音楽を超えて “と言うキャッチフレーズを掲げました。古城の中のフラワーショー、書籍の紹介、展示会そしてフェスティバルにちなんだ美食のイベントなど、盛りだくさんのイベントを楽しんでいただきます。ヴァラジュディン市は、この時期、時代をさかのぼって 12 世紀の様相に一変し、皆様が映画の中でしか見られない風景が再現されます。バロックの歴史に誇りをもち、歴史を忘れることなく、さらに未来を築いていこうとしています。

夏の終わりの Špancifest (シュパンチフェスト) 祭に続いてヴァラジュディン・バロックの夕べは秋の始まりを彩ります。伝統的な Špancifest (シュパンチフェスト) 祭は、ストリートパフォーマンスなど、夏空の下で繰り広げられる 10 日間の陽気な夏の芸術祭です。そして一年の終わりはアドヴェント (キリスト降臨) の祝いを迎えます。バロックの町は、氷につつまれた魔法のおとぎ話の世界に変貌していきます。ヴァラジュディンは、いつの時代も魅力にあふれ、世論調査ではクロアチアの魅力的な町ランキングの上位にはいっています。ヴァラジュディン市はまた、最も味わい深い伝統の町アワードを受賞しています。ヴァラジュディン・バロックの夕べは、そんな風情の豊かな町で行われており、ヨーロッパ中の注目を集めているのです。

今年の日本との共演は、イベントの境界をさらに拓けることになります。日本からイベントに参加される皆様は、その魅力を間近に感じ、クロアチアの人々は、'Land of Rising Sun 日出ずる国' との出会いを、音楽を通して知る機会となるでしょう。音楽が繋ぐ橋は、その距離、時代を超え、さまざまな問題を超越して、ただひたすら人々の輪を結びつけていきます。